



AS MXF Audio Inserter

製品マニュアル

2025/7/7版

ver1.1.0

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 本マニュアルについて.....	3
1.2. 製品概要.....	3
1.3. 動作環境と前提条件.....	3
2. インストールとセットアップ.....	4
2.1. ダウンロード手順.....	4
2.2. インストール方法.....	4
2.3. ライセンス認証とアクティベーション.....	4
2.4. ライセンスの更新.....	9
2.5. ライセンスの解除.....	10
3. 使い方.....	13
3.1. ソフトウェアの起動.....	13
3.2. ユーザーインターフェースの概要.....	13
3.3. メニューについて.....	16
4. WAVファイルの書き出し.....	18
5. ラウドネス測定.....	20
6. 設定画面.....	22
6.1. Settings.....	23
6.2. Proxy Setting.....	25
6.3. License Status.....	26
7. トラブルシューティング.....	28
7.1. よくある質問とその解決策.....	28
8. 補足情報.....	30
8.1. ライセンスとトライアルについて.....	30
9. サポートについて.....	30

1. はじめに

1.1. 本マニュアルについて

このマニュアルは、『AS MXF Audio Inserter』のインストール方法および操作方法を解説しています。

1.2. 製品概要

『AS MXF Audio Inserter』は、MXFファイルに対して任意のタイムコードから指定したチャンネルの音声を差し替えることができるソフトウェアです。映像やアンシラリデータ部分には影響を与えず、安全かつ効率的な音声の差し替えを実現します。さらに、差し替え前後の音声をボタン一つで切り替えながらプレビューする機能や、SDIプレビューを行う機能も搭載しています。

1.3. 動作環境と前提条件

本製品は以下の環境で動作します。

対応OS	Windows 10以降(x64)、MacOS 12以上
CPU	プレビューを行う場合はCore i5以上
GPU	OpenGLが動作すること
メモリ	4GB以上(プレビューを行う場合は8GB以上を推奨)
ストレージ	1GB以上の空き容量、 書き出しながらプレビューを行う場合はSSD推奨
SDI出力対応デバイス	BlackMagic Design社製 DeckLinkシリーズ、UltraStudioシリーズ ※Desktop Videoドライバ(バージョン14以降)のインストールが必要です

※ 本製品はマレーシア国ではご使用になれません

2. インストールとセットアップ

2.1. ダウンロード手順

製品のダウンロードは、アンバーサインウェブサイトのサブスクリプション管理ページから行います。ダウンロード時に使用許諾契約に同意する必要があります。

2.2. インストール方法

ダウンロードしたインストーラーを実行し、画面の指示に従ってインストールを進めます。インストール後、初めてご利用なる際に使用許諾契約に改めて同意する必要があります。

2.3. ライセンス認証とアクティベーション

インストール後、ソフトウェアを起動するとライセンス認証が求められます。ライセンス認証には、オンライン認証とオフライン認証の2通りがあります。環境に応じた方法でアクティベーションを完了させてください。

- オンラインライセンス認証 **<推奨>**

ソフトウェアがアンバーサインライセンスサーバーにアクセスし、サブスクリプション更新やプラン変更を自動で行います。基本的にオンライン認証を推奨いたします。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「アクティベーションする」のボタンを押してください。

☒ ソフトウェア利用規約および関連規定に同意します

ライセンス認証に必要な情報を入力してください。

デバイス名

必須ではありませんがサブスクリプション管理画面で表示されるため、分かりやすい名前をつけることをお勧めします。

認証方法 ☒ オンライン
(普段デバイスはインターネットに接続されています) <お勧め>

☐ オフライン
(普段デバイスはインターネットに接続されていません)

オンライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に自動でライセンス認証が更新されます。
オフライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に手でライセンス更新を行う必要があります。

[» プロキシ設定](#)

アクティベーションする

- アンバーサインWebサイトへ遷移します。ログインしていない場合、ログインを求められます。
- ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
- 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。ライセンスが適用され、自動的にアプリケーションが使用可能になります。

ライセンスの適用

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名 akinoMacBook-Air-2.local
OS MacOS (Apple Silicon)
製品 AS MXF Audio Inserter
認証方法 オンライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在のご 利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

ユーザーメモ

ライセンスを適用する »



プロキシ経由でインターネットに接続している場合、デフォルトのプロキシ利用設定は「OS設定に従う」になっておりますので、通常はそのままプロキシ経由でオンラインライセンス認証が可能です。

ただし、以下の環境では、プロキシ設定のリンクをクリックして、「静的に指定する」をご選択いただき、プロキシサーバーのアドレスなどを登録してください。

- (MacOSおよびLinux)「自動プロキシ検出」「自動プロキシ構成」を利用してプロキシを利用している環境
- プロキシにID、パスワードが必要な環境

- オフラインライセンス認証

インターネットに接続できない環境でソフトウェアを利用するための方式です。サブスクリプションの更新ごとに手動で新しいライセンスファイルを適用する必要があります。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「デバイス認証ファイルをダウンロード」ボタンを押すと、「AS-Device-authentication.txt」という名前のファイルがダウンロードされます。これがデバイス認証ファイルです。

4. 別のPCなどでアンバーサインWebサイトを開き、「サブスクリプション画面」に「オフラインライセンスを適用する」というメニューがありますのでそれをクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在のご 利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> オフラインライセンスを解除する (ライセンス解除要求ファイルが必要です)

5. 「オフラインによるライセンス適用」画面で、さきほどダウンロードした「デバイス認証ファイル」を読み込ませてください。
6. ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
7. 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。「ライセンスファイル」(AS-License.txt)がダウンロードされます。

オフラインによるライセンス適用

デバイス認証ファイル

[ファイルを選択](#)
AS Device...tion (14).txt

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名

akinoMacBook-Air-2.local

OS

MacOS (Apple Silicon)

製品

AS MXF Audio Inserter

認証方法

オフライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在のご 利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

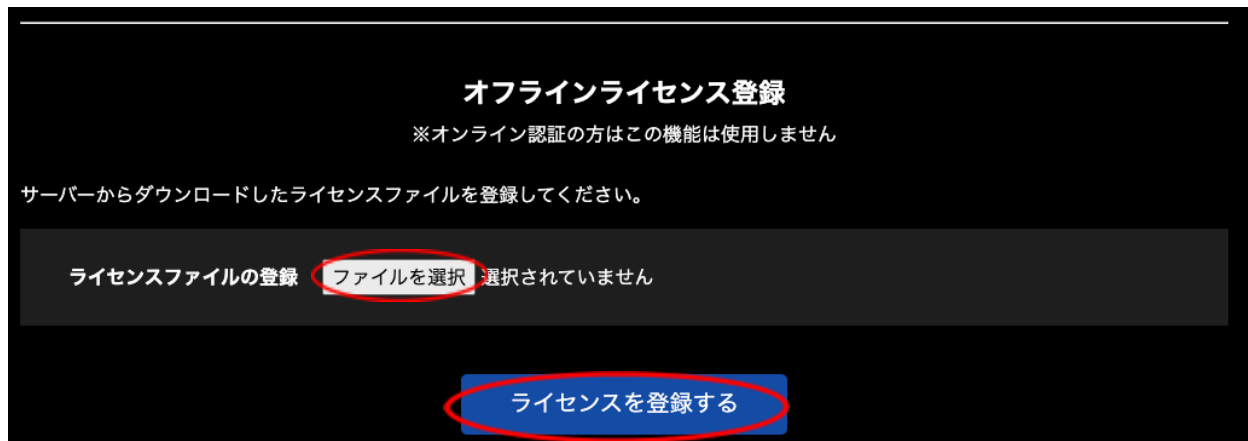
ユーザーメモ

<< [元のページへ戻る](#)

[ライセンスを適用する](#) >>

8. ソフトウェアのライセンス認証画面に戻り、一番下にある「オフラインライセンス登録」のメニューから、先ほどダウンロードしたライセンスファイル

を読み込ませ、「ライセンスを登録する」ボタンを押してください。これでアプリケーションが使用可能になります。



2.4. ライセンスの更新

オフラインライセンスの場合、サブスクリプション期間の更新の際に、新しいライセンスファイルを適用する必要があります。新しいライセンスの適用は、現在のライセンス期間終了後、猶予期間(通常14日間。トライアルの場合、3日間)内に行うことができます。猶予期間を過ぎるとアプリケーションが使用不可になりますのでご注意ください。

1. アンバーサインWebページの「サブスクリプション管理」画面の中の「デバイス管理」ボタンを押してください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払いサイクル	現在のご利用期間	自動更新	支払方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

2. 「デバイス管理」画面から、新しいライセンスを適用したいデバイスのライセンスファイルをダウンロードしてください。

デバイスの管理

製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	

No.	端末・サーバー名	OS	登録日	認証方法	⚠ お知らせ	ユーザーメモ
1	akinoMacBook-Air-2.local	MacOS (Apple Silicon)	2025/4/12	オフライン		 ライセンスファイル

3. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス更新」メニューから先ほどダウンロードしたライセンスを選択してください。「ライセンス期限」が更新されれば完了です。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : **ファイルを選択** 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

※ オンラインライセンスの場合、自動的に新しいライセンスが適用されますので何もする必要はありません。

2.5. ライセンスの解除

端末の更新などでライセンスを移行する必要がある場合、現在ご利用中の端末からライセンスを解除し、新しい端末に改めてライセンスを適用していただくことができます。

1. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス解除」ボタンを押してください。
オンラインライセンスの場合、以上でライセンスの解除は完了です。解除した端末ではもうソフトウェアはご利用いただけません。アンバーサインWebサイトより、ライセンスが戻っていることをご確認ください。
オフラインライセンスの場合、「ライセンス解除要求ファイル」(

AS-Request-Deactive.txt)がダウンロードされます。この時点で端末ではソフトウェアがご利用いただけなくなります。「ライセンス解除要求ファイル」をアンバーサインWebサイトより正しく適用しないと、ライセンスが利用不能になりますのでご注意ください。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : [ファイルを選択](#) 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

- アンバーサインWebサイトに遷移し、サブスクリプション管理画面下部の「オフラインライセンスを解除する」をクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> [オフラインライセンスを解除する \(ライセンス解除要求ファイルが必要です\)](#)

3. ライセンス解除画面で、先ほどダウンロードした「ライセンス解除要求ファイル」を入力し、「ライセンスを解除する」ボタンを押してください。これで解除したライセンスが再び使用可能な状態に戻ります。

ライセンスの解除

ライセンス解除要求ファイル

ファイルを選択 | AS Reque...ctive (1).txt

デバイス情報

デバイス名	akinoMacBook-Air-2.local
OS	MacOS (Apple Silicon)
認証方法	オフライン
ユーザーメモ	

解除するライセンス

製品	AS MXF Audio Inserter Client Standard
契約期間	トライアル中 2025/4/24まで
自動更新	有
契約数	1
登録数	1 → 2
ユーザーメモ	

◀ 元のページへ戻る

ライセンスを解除する ▶

3. 使い方

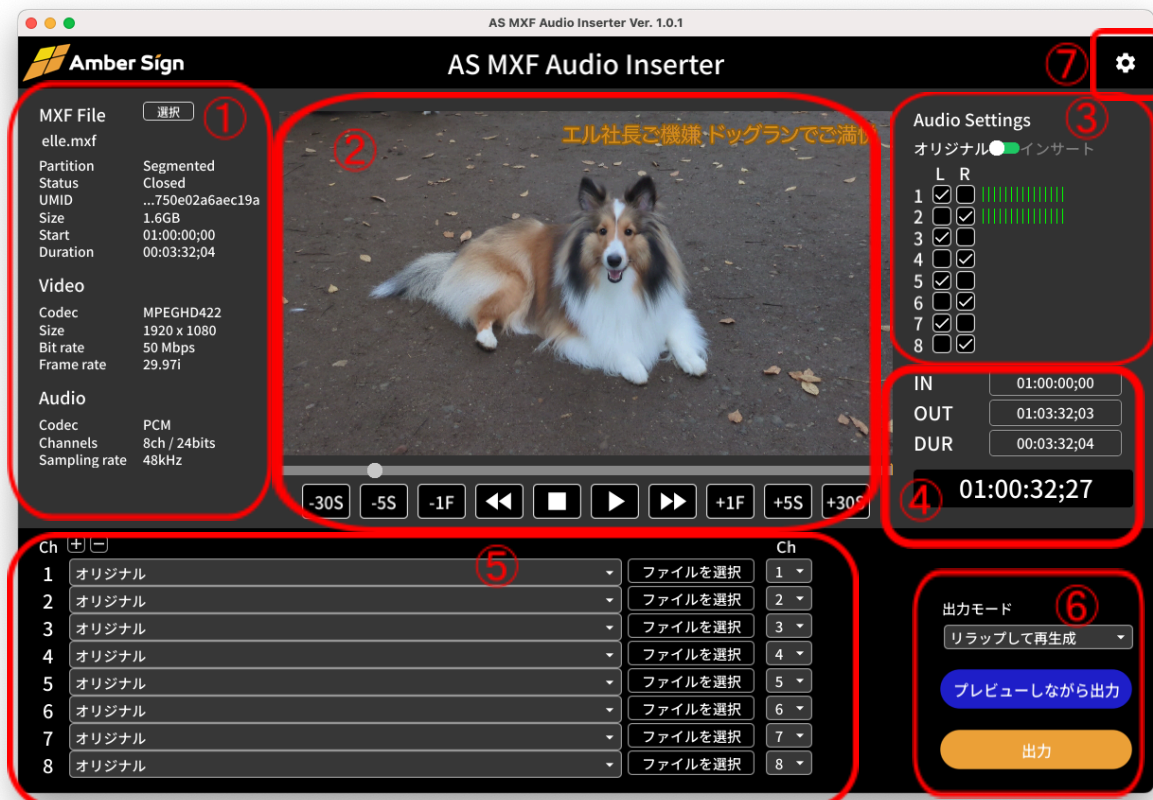
3.1. ソフトウェアの起動

『AS MXF Audio Inserter』のアイコンを起動します。



3.2. ユーザーインターフェースの概要

起動後、メイン画面が表示されます。メイン画面には、以下の主要なセクションが表示されます。



ファイル情報エリア(①)

「選択」ボタンからMXFファイル/MOVファイル()の読み込みができます。Finder(MacOS)またはエクスプローラー(Windows)からMXF・MOVを画面にドラッグアンドドロップして読み込ませることも可能です。

このエリアには読み込んだファイルの詳細な情報が表示されます。

プレビューエリア(②)

読み込んだファイルの映像が表示されます。

- 再生ゲージのポインタを左右に動かすことで任意のポイントにジャンプできます。
 - 再生ゲージには、IN点、OUT点の表示と、実際にインサートされるエリアが緑色で表示されます。
- 再生ボタン(▶) 再生を開始します
- 停止ボタン(□) 再生を停止します
- 早送りボタン(▶▶) 再生速度をプラスします
- 速戻しボタン(◀◀) 再生速度をマイナスします
- -30S,-5S,-1F,+1F,+5S,+30Sボタン フレームを移動します

その他、キーボード操作で下記が可能です。

- スペース 再生・停止を行います
- J 再生速度をマイナスします
- K 停止します
- L 再生速度をプラスします
- → 1フレーム進みます。シフト+→で1秒進みます。
- ← 1フレーム戻ります。シフト+←で1秒戻ります。
- I 現在のフレームにIN点を設定します
- O 現在のフレームにOUT点を設定します

オーディオリスニングセッティングエリア(③)

- オリジナル・インサート選択
MXFのオリジナルの状態を聞くか、インサートされた後の状態を聞くか選択できます。実際にインサートを行う前に、タイムコードのずれがないかなどプレビューすることが可能です。
- チャンネルON/OFF
PCのスピーカー(L,R)にMXFの各chを割り当てて聞くことができます。SDI出力時は無効です。(SDIには全てのchが出力されます)

タイムコードセッティングエリア(④)

- IN, OUT, DUR入力
音声をインサートするIN点、OUT点、デュレーションを確認・入力できます。キーボードから、I,Oを押すことで現在表示しているフレームをIN点、OUT点に設定することも可能です。
- タイムコード表示
現在のタイムコードを表示します。入力はありません。

インサート設定エリア(⑤)

- インサートするwavファイルを指定するエリアです。wavファイルをドラッグ&ドロップするか、「ファイルを選択」ボタンから指定できます。
ドラッグアンドドロップの場合、chのエリアに落とせばそのチャンネルにファイルが指定されます。
- 各音声chに、どのwavファイルの何ch目を当てるか、オリジナルを当てるかなどを指定できます。無音も選択できます。
- +ボタン
chを2つ増やします(※)。8chが最大です。
- -ボタン
chを2つ減らします(※)。

※ MXF規格では音声チャンネル数が偶数と規定されているため

※ MOVファイルではチャンネルの増減はできません。

出力設定エリア(⑥)

- 出力モード選択 インサートの方式を選択できます
 - 「オリジナルを書き換え」
入力したMXF/MOVファイルをそのまま書き換えるモードです。
ファイルが上書きされ、元に戻すことができなくなりますのでご注意ください。
 - 「コピーしながら書き換え」
入力したMXF/MOVファイルをコピーしながら、インサートされたMXF/MOVファイルを出力するモードです。オリジナルとは別のファイルが生成されますが、音声部分と一部のメタデータのみしか書き換えません。

- 「リラップして再生成」

入力したMXFファイルを元に、インサートされたMXFファイルを新たに生成するモードです。

MOVファイルでは本機能を使用できません。

- 「プレビューしながら出力」

プレビューを実施しながらインサートされたMXFファイルを出力します。再生を開始したいフレームをあらかじめ頭出ししておけば、そのフレームから再生が開始されます。ファイルを生成または書き換えしながら再生を行いますので、SSDが推奨です。USBメモリ等の遅いメディアだと再生が安定しない場合があります。

- 「出力」

インサートされたMXFファイルを出力します。再生は行いません。

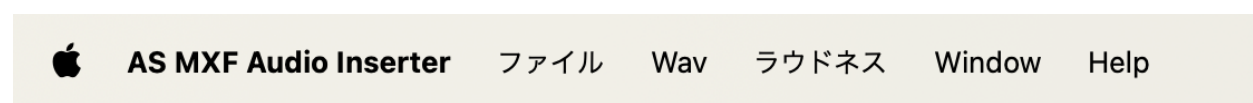
設定画面表示(⑦)

設定画面を開きます。(Webブラウザが起動します。)

設定画面の詳細は「6. 設定画面」を参照してください。

3.3. メニューについて

MacOSの場合、メニューバーに、Windowsの場合、ウィンドウの上部に、メニューが表示されます。



- 「ファイル」メニュー

- 「ログのあるフォルダを開く」

ログファイルのフォルダを開きます。不具合時などに当社にログを送信する場合にこちらから取得してください。

- 「環境設定」

管理画面に遷移します。メイン画面右上の歯車マークと同じです。

- 「WAV」メニュー

- 「WAVファイルの書き出し」

WAVファイルの書き出しダイアログを開きます。詳しくは、4章をご覧ください。

- 「ラウドネス」メニュー

Advancedプラン

- 「ラウドネス測定」

ラウドネス測定ダイアログを開きます。詳しくは5章をご覧ください。

- 「ラウドネス測定結果表示」

最後に測定したラウドネス測定結果を表示します。プレビューしながら出力をした場合、ラウドネス結果が表示されないため、こちらからご確認ください。

- 「出力時に同時にラウドネスを測定する」

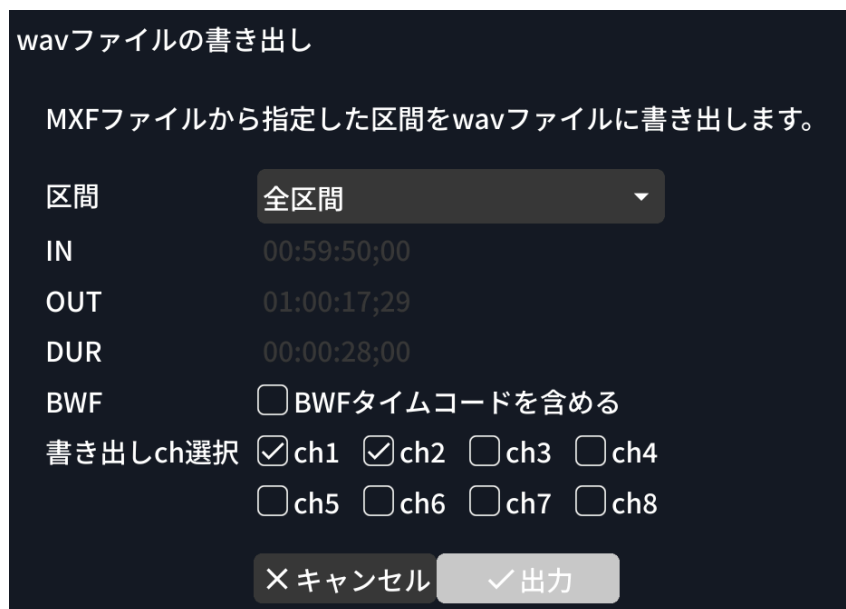
インサート後のMXF/MOVファイル書き出し時にラウドネス測定を同時に行う場合、こちらをオンにしてください。

ラウドネス測定の対象チャンネルは、設定画面で設定した内容（ステレオ、デュアルステレオ、5.1Ch+S）に従います。

ラウドネス測定は、設定されたIN/OUT点に関わらず、ファイルのShow点以降全体を測定します。Show点はファイルの最初に登場する xxh00m00s00f を起点と判定します。

4. WAVファイルの書き出し

上部の「WAV」メニューから「WAVファイルの書き出し」を選択すると、WAVファイル書き出しダイアログが表示されます。



wavファイルの書き出し

MXFファイルから指定した区間をwavファイルに書き出します。

区間 全区間 ▼

IN 00:59:50;00

OUT 01:00:17;29

DUR 00:00:28;00

BWF ☐ BWFタイムコードを含める

書き出しch選択 ☒ ch1 ☒ ch2 ☐ ch3 ☐ ch4
☐ ch5 ☐ ch6 ☐ ch7 ☐ ch8

× キャンセル ✓ 出力

書き出す区間や、チャンネルを選択し、「出力」ボタンを押すと、ファイル保存ダイアログが表示され、WAVファイルが出力されます。

WAVファイルはオリジナルの音声出力されます。インサート後の音声は選択できません。また、オリジナルの音声のビット数に合わせたWAVファイルが出力されます。

各項目の説明は以下の通りです。

- 「区間」

WAVファイルに書き出す区間を指定します。

- 「全区間」

ファイル全体を出力します

- 「show点以降」

ファイルに最初に登場する xxh00m00s00fを起点に、ファイルの最後までを出力します。

- 「メイン画面で指定した区間」

メイン操作画面で指定したIN/OUT点を用います。

- 「区間指定」

任意のタイムコードを指定して、その区間を出力します。

- 「BWFタイムコードを含める」
チェックをオンにすると、WAVファイルにBWFタイムコード情報を付与します。
- 「書き出しch選択」
書き出すchを選択します。複数のchを選択した場合、複数トラックのファイルが生成されます。

5. ラウドネス測定

Advancedプラン

上部の「ラウドネス」メニューから「ラウドネス測定」を選択すると、ラウドネス測定ダイアログが表示されます。

（書き出し時のラウドネス測定については、3.3章のメニューの説明および、6章の設定画面の説明をご覧ください。）

ラウドネス測定

MXF指定した区間のラウドネス測定をします。

区間	全区間
IN	00:59:50;00
OUT	01:00:17;29
DUR	00:00:28;00
計算対象	オリジナル
チャンネル	ステレオ
ラウドネス1	L: ch1 R: ch2

× キャンセル ✓ 測定開始

測定する区間や、チャンネルを選択し、「測定開始」ボタンを押すとラウドネス測定が開始されます。

各項目の説明は以下の通りです。

- 「区間」

ラウドネス測定する区間を指定します。

- 「全区間」

ファイル全体を測定します

- 「show点以降」

ファイルに最初に登場する xxh00m00s00fを起点に、ファイルの最後までを測定します。

- 「メイン画面で指定した区間」

メイン操作画面で指定したIN/OUT点を用います。

- 「区間指定」

任意のタイムコードを指定して、その区間を測定します。

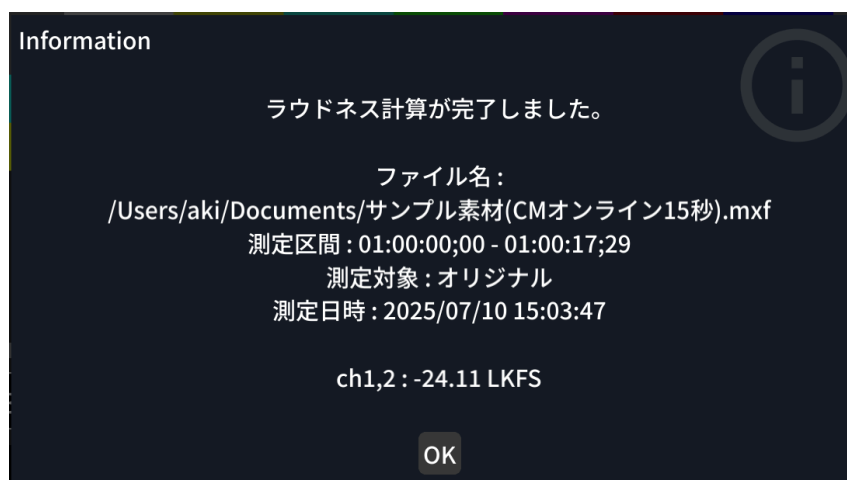
- 「計算対象」

「オリジナル」「インサート」から選択します。

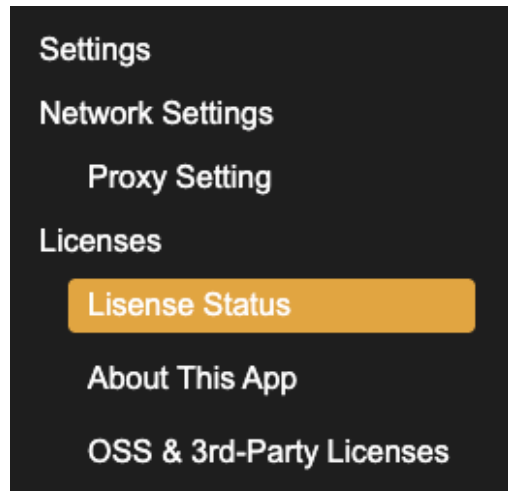
- 「チャンネル」

「ステレオ」「デュアルステレオ」「5.1ch+S」から選択します。選択に応じて、「ラウドネス1」「ラウドネス2」欄が表示され、どのチャンネルを対象にするか入力できます。

ラウドネス計算が完了すると、測定結果をダイアログに表示します。

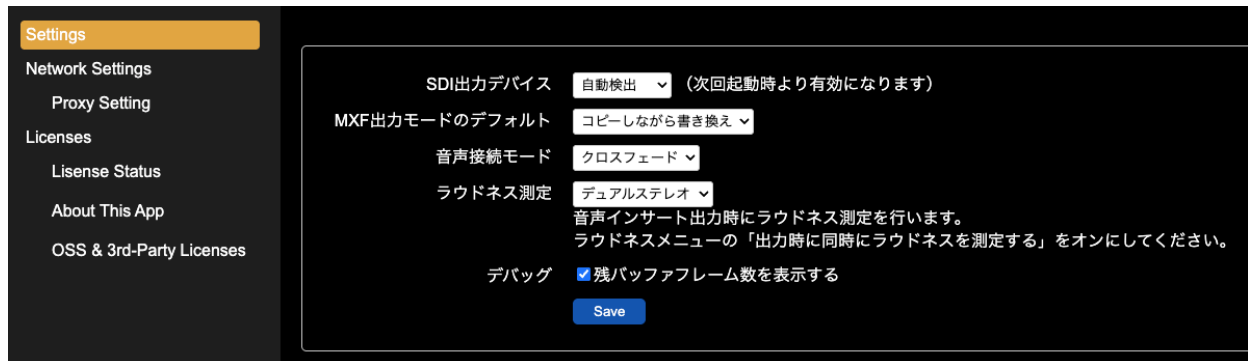


6. 設定画面



- Settings
AS MXF Checkerの設定を行います。
- Proxy Settings
プロキシの設定を行います。
- License Status
ライセンス状態の確認、ライセンスの更新、解除を行えます。
- About This App
ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。
- OSS & 3rd-Party Licenses
Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

6.1. Settings



- SDI出力デバイス
SDIを出力するデバイスを設定します。SDI出力しない設定も可能です。
初期設定は自動検出で、Blackmagic Design社のDeckLink または UltraStudioが接続されている場合、自動で検出し、SDI出力されます。
- MXF出力モードのデフォルト
「オリジナルを書き換え」、「コピーしながら書き換え」、「リラップして再生成」から選択できます。アプリ起動時のデフォルトの選択ですので、画面上で選択しなおすことができます。
- 音声接続モード
WAVファイルからインサートを行う際、元の音声との接合点の処理の種類を選択します。
 - 「クロスフェード」
インサートする区間の元の音とインサートする音を極短時間 (1.5ms) でクロスフェードし、波形飛びをしないようにします。デフォルト値は「クロスフェード」です。
 - 「ダイレクト」
インサートする音をそのまま上書きします。インサートする直前の音と位相が合っていない場合、波形飛びによるノイズが発生する可能性があります。
- ラウドネス測定 Advancedプラン
WAVファイルからインサートを行う際、元インサートファイルの書き出しと同時にラウドネス測定を行う場合の対象チャンネルを選択します。
「ステレオ」「デュアルステレオ」「5.1ch+S」から選択できます。ステレオ

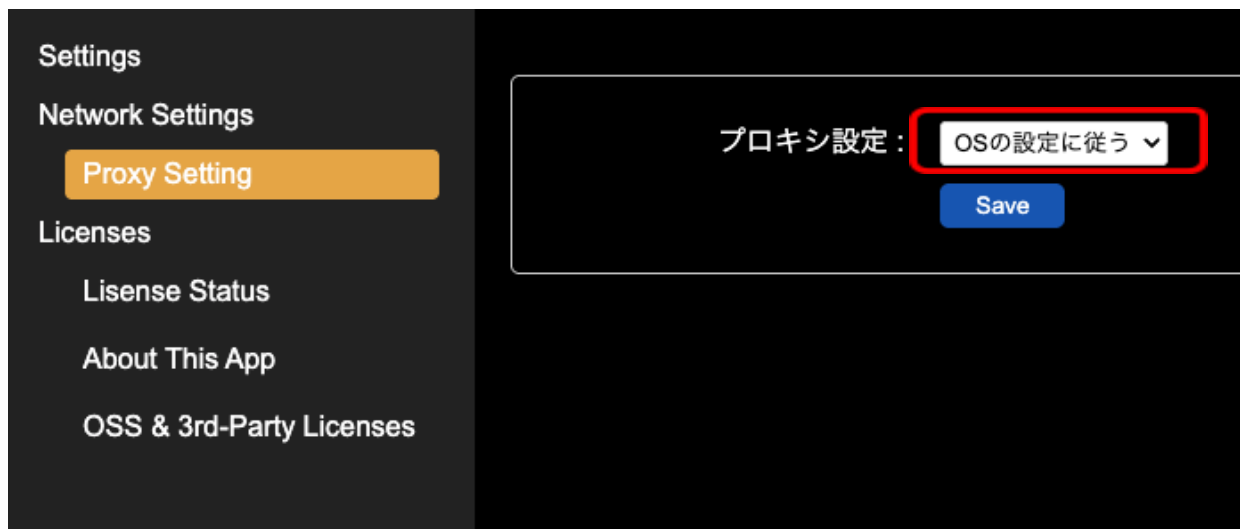
は ch1,ch2、デュアルステレオは ch1,2 と ch3,4、5.1ch+SIは ch1～6、ch7,8 を測定対象とします。

- デバッグ

通常は設定不要です。

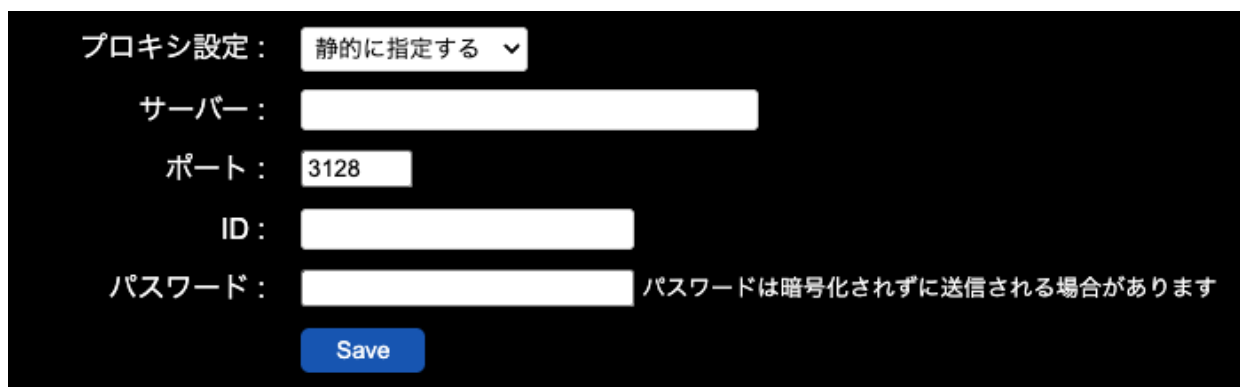
画面に、デコード済みのフレーム数を表示します。コマ落ちが発生する場合などにバッファの挙動を確認することができます。

6.2. Proxy Setting

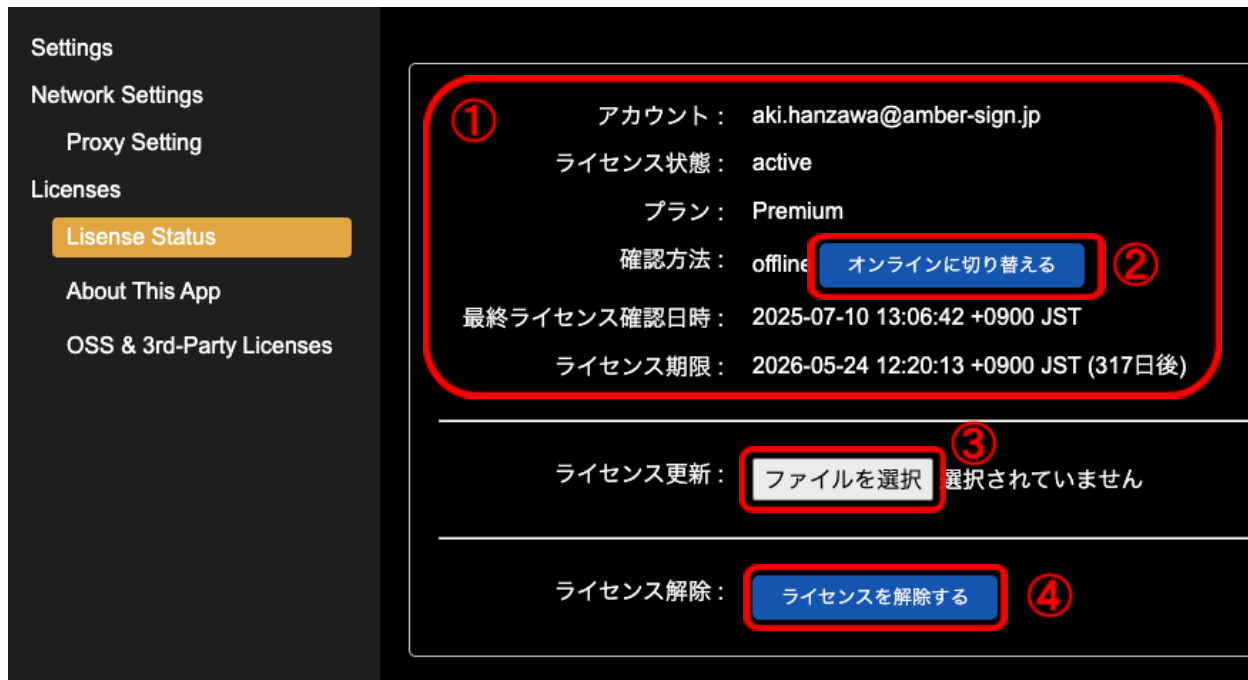


プロキシ環境化で、ライセンス認証をオンラインで行うために必要な設定です。

- 「OSの設定に従う」「静的に指定する」「使用しない」が選択できます。デフォルトは「OSの設定に従う」です。「静的に指定する」を選択した場合、プロキシサーバーを指定する入力項目が表示されます。お使いの環境に合わせて登録してください。



6.3. License Status



- ライセンス状態(①)

ライセンスが有効かどうかの情報、ライセンス認証方法、期限などを表示します。
- オンライン・オフライン切り替え(②)

オンラインとオフラインを切り替えることができます。オフラインで登録していたが、インターネットが接続可能になった場合などに実施してください。

切り替えはインターネットに接続できる状態でのみ行うことができます。
- ライセンス更新(オフラインライセンス認証のみ)(③)

ライセンスが更新になった場合や、プランを変更した場合などに、新たにライセンスファイルを適用することができます。アンバーサインWebサイトからダウンロードしたライセンスファイルを入力してください。

ライセンスファイルはご利用のデバイスに紐づいていますので別のデバイス用のライセンスを入力するとエラーになります。
- ライセンス解除(④)

端末の故障や更新時に、もうこのデバイスでアプリを使用しない場合にライセンス解除を行うことができます。解除を行うと、アプリは使用不能となり、解除したライセンスを別のデバイスに適用することができます。

7. トラブルシューティング

7.1. よくある質問とその解決策

Q. 対応しているMXFの種類は？

A. 2025年7月現在、XDCAM 50M(MPEG2 HD422)のみ対応しています。さらにリラップ機能は、29.97iのファイルのみの対応です。

バージョンアップにて、XAVC-I、および、XAVC-L(4K、HD)にも対応予定です。

Q. 対応しているMOVの種類は？

A. 2025年7月現在、HD(1280x720)またはフルHD(1920x1080)のProResのMOVファイルのみ対応しています。なお、フラグメントmovファイル(ストリーミング用のファイル形式)には対応しておりません。

Q. 対応している音声ファイルの種類は？

A. 対応しているフォーマットはWAV(PCM)またはBWF形式です。

Q. パソコンから音が出ません。

A. SDI出力をしている場合、SDI側に音声出力されます。同時には音を出せませんのでご了承ください。

Q. SDI出力時、プレビューするチャンネルを選択できません。

A. SDI出力をしている場合、SDIには全ch出力されます。お聞きになるチャンネルを選びたい場合、視聴されるSDI機器側でチャンネルをマッピングしてください。

Q. 「コピーしながら書き換え」と、「リラップして再生成」の違いは何ですか？

A. オリジナルと別のファイルを生成するという意味では同じで、出来上がるコンテンツ内容も同じですが、「コピーしながら書き換え」は、オリジナルファイルをそっくりコピーし、音声部分だけを書き換えます(規格に従いUMIDも変更します。。「リラップして再生成」は、映像や書き換えられない部分の音声などはそのまま使用し、MXF自体を再生成しますので、オリジナルファイルに多少規格違反があっても問題ないファイルに直る可能性があります。あえてオリジナルの構造を残す必要がなければ、トラブルの少ない「リラップして再生成」をお勧めします。

Q. 誤ってドラッグアンドドロップしたWAVファイルを削除したい。

A. 一度入力したWAVファイルを消すことはできません。音声ファイルを選択するセレクトボックスでそのファイルを選ばなければインサート処理に影響しませんのでそのようにしてください。または一度アプリを閉じて再度起動してください。

Q. SDI音声にブツブツ音が入る場合がある。

A. 当社でも発生を確認しておりますが、Blackmagic社公式のソフトウェアでも発生するため、Blackmagic製品側の問題のようです。OSやドライバーのバージョンの組み合わせで発生する恐れがあり、デバイスのバージョンアップや、Thunderboltで接続するタイプであれば、抜き差しするなどご対応をお願いいたします。

Q. MXFを読み込ませたら、「MXFの読み込みでエラーが発生しました。GetFrameTC: Frame position get error. FrameNo=-2」とエラーが出た。

A. MXFファイルに異常がある場合、エラーが発生することがあります。特にこのエラーは、PremiereでMXFを出力する際、「SONY機器への直接の書き出し」をオンにして出力したファイルで発生することがあります。元のMXFファイルをどのように出力したかご確認ください。

Q. ラウドネス測定で、モノラルの指定ができないのはなぜですか？

A. 現状の放送フォーマットでは、多くの場合、モノラルはモノステで運用されており実質ステレオとなるためです。LOUDNESSの計算仕様上、1chのモノラルでのLOUDNESS値と、同じ音声を2chに入れたモノステではLOUDNESS測定値が異なります。モノラルを指定できるようにすると、運用ミスが懸念されるため、あえてシンプルにモノラルの測定はできないようにしています。ご了承ください。

8. 補足情報

8.1. ライセンスとトライアルについて

『AS MXF Audio Inserter』は、端末1台ごとに1つのライセンスが必要です。ライセンス解除と適用を繰り返し、複数の端末でご利用いただくことはライセンス違反になりますのでご注意ください。

初めてのご利用には、トライアルとして一定期間無料で機能制限なしでご評価いただけます（トライアル可能期間は当社Webページをご覧ください）。トライアル中の本運用での使用はお控えください。トライアル期間中に本ソフトウェアの購入を決定して、本格導入を前提に使用する場合はこの限りではありません。

9. サポートについて

ご不明な点がございましたら、以下のサポート窓口までお問い合わせください：

Webフォーム：<https://www.amber-sign.jp/contact/>

メール：support@amber-sign.jp

サポート対応時間：平日 10:00～18:00（土日祝および当社が定める休日を除く）

継続課金型サービス（サブスクリプション）ユーザー向けサポート規程

<https://www.amber-sign.jp/terms/subscription.html>